

プログラム名	お互いを尊重しあえるコミュニケーションプログラム		
団体名	一般社団法人日本ナンバーワントレーナー協会	区分	講 習
対象者	小 中 高 小学生の場合は3年生以上対象となります。	対象分野	研修
		教員、保護者ともに相手の視点に立ったコミュニケーションが可能なため	

プログラムのねらい

自分の視点と相手の視点がずれてしまうことや相手との解釈のズレにより、気が合うか合わないかお互いの「価値観」が違うなど相手への評価判断になってしまい人間関係がぎくしゃくしてしまう。このプログラムはどんな相手であっても相手の視点を尊重し、たとえ違う国であっても、お互いのコミュニケーションで効果的な人間関係を構築することを目的とする。

プログラムの内容

必要コマ数 1、2（要相談）コマ

■プログラムの流れ

- ①導入（5分）
自己紹介
本日の流れ説明
- ②講義（10分）
今回のプログラムの目的
それぞれの「視点」の違いを通して自分と相手の観方を尊重し、コミュニケーションの簡単な方法を実践する。
- ③ワーク（10分）
図形や写真をつかってそれぞれの観方をシェアしあう
また自分と相手の視点がずれてしまった場合はどうするのかをシェアしあう。
- ④講義（5分）
それぞれの「聴き方」の違いを通して自分から出てくる言葉工夫してみる。
- ⑤ワーク（10分）
今まで嫌だなと思った言葉が自分にどんな意味に聞こえたのかをシェアする。
自分から出てくる言葉が相手にどのように伝わるのか？また相手のいった言葉がどう聞こえるのか？
気づくことでどう伝えたらいいか1つだけ考えてみる。
- ⑥まとめ（5分）
講義前半の視点と後半の聴き方のポイントや簡単なコミュニケーション方法を会得



令和 4・5年度 実績	☒ 小学校 ☒ 中学校 ☒ 高校 ☐ 特別支援学校
	☐ その他（ ） 令和4年度実績（都内） 12校（回） 令和5年度実績（都内） 15校（回）
	☒ 教科（人間と社会の授業の一環として） ☐ 道徳 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） ☐ 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） ☒ 教員対象研修 ☒ PTA等保護者対象研修 ☐ 学童クラブ・児童館等のイベント ☐ その他（ ）

支援活動の概要紹介

体育館を使用したり、視聴覚教室を使用したり、教室で参加していただいたり様々です。コロナの時は各教室に音声と画像が流れるようにZOOMで対応させていただきました。オンラインも可能です。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等）
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター、スクリーンを用意してください。また、学生にはそれぞれノートと筆記用具がワークの際に手書き出来るようなA4のコピー用紙を1枚ずつご用意ください。		
連絡先	部署名・担当者	研修担当 中澤仁美 田中恵美	
	プログラム紹介 WEB		
	電話	080-4337 - 1595	
	e-mail	nakazawa@1trainer.jp	